



SOKA WOMEN'S COLLEGE SCHOLARSHIP GUIDEBOOK

奨学金ガイドブック

2020



2020年度より、

国の「高等教育の修学支援新制度」が実施されます

「高等教育の修学支援新制度」は、経済的に厳しいご家庭でも大学に進学できるよう、経済的負担を軽減することを目的として国が実施する制度です。

支援を受けるためには、在籍している学校（受験生は高校等）に申し込み、対象者となることと、政府の要件を満たした大学・短大等に進学することが条件になります。創価女子短期大学も対象校となるため準備を進めています（対象校は2019年9月下旬公表予定）。

支援の対象者が、対象となる大学等に進学した場合、「入学金および授業料の減免」と「給付型奨学金」の両方の支援が受けられることとなります。例えば、2020年に入学した自宅外通学生が、支援の対象となった場合の支援額の合計は、1年次は約170万円、2年間で約320万円の奨学金（減免・給付）が受けられることとなります。※通学形態・生活保護等の世帯で支援額が異なります。また家計・成績における継続審査があります。

創価女子短期大学では、これまで独自の奨学金制度を実施し、経済的に修学が困難な多くの学生を支援してきました。「高等教育の修学支援新制度」実施に伴い、より幅広く学生が支援を受けられるようにするため、これまでの制度を総合的に見直し、2020年度以降の本学独自の奨学金制度について、変更を行いました。

POINT：すべて返還義務のない給付型奨学金制度です。

一般的に奨学金には、卒業後返還が必要な「貸与型奨学金」と返還義務のない「学費減免型奨学金」「給付型奨学金」があります。学生のみなさんが安心して学業に取り組めるよう、創価女子短期大学独自で実施している奨学金は、すべて返還義務のない給付型奨学金です。

創価女子短期大学は、これからも学びたい学生の
経済的サポートをしていきます

入学金・学費

■納付金（2019年度実績）

内 訳		年 額
入学金		200,000 円
学 費	授業料	630,000 円
	在籍料	60,000 円
	教育充実費	240,000 円
	実習費	50,000 円
諸 費	学生会費	15,000 円
	新入生研修会費	20,000 円
初年度納付金合計		1,215,000 円

※入学金・学費・諸費は改定されることがあります。

■学費納付期限

	入学金	1 年次		2 年次	
		前期	後期	前期	後期
原則年 2 回 分割納付	合格発表後 1～2 週間後	入学前 3月上旬頃	11月上旬	5月下旬	11月上旬

寮 費

※選考後、決定者には学費と合わせて納付していただきます。

	部屋	募集人数	入寮費	舎費	合計
朝風寮	2 人	約 100 名	50,000 円	308,000 円	358,000 円
香友寮	2 人	約 40 名	50,000 円	288,000 円	338,000 円



創価女子短期大学が独自で実施している給付型奨学金

経済的に困難な学生を支援するための奨学金

○家計収入基準（1～3の奨学金制度に適用）

主たる家計支持者の年収が、給与所得の場合は収入金額（課税前）600万円未満、事業所得の場合は所得金額が250万円未満であること。

※以下1～4の奨学金制度と、

2020年実施予定の国の「高等教育の修学支援新制度」とは併給できません。

1	創価女子短期大学給付奨学金	給付型・返還不要
出願	入学後、毎年4月初旬に開催する奨学金ガイダンスにて説明	
給付額	400,000円（当該年度前期に一括給付）	
採用人数	10名	
採用期間	1年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

2	創価女子短期大学牧口記念教育基金会奨学金	給付型・返還不要
出願	入学後、毎年4月初旬に開催する奨学金ガイダンスにて説明	
給付額	200,000円（当該年度前期に一括給付）	
採用人数	15名	
採用期間	1年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

※①「短大給付奨学金」不採用者のなかで成績の高い者から順に採用されます。

3	短大白鳥会給付奨学金	給付型・返還不要
出願	入学後、毎年4月初旬に開催する奨学金ガイダンスにて説明	
給付額	200,000円（当該年度前期に一括給付）	
採用人数	30名	
採用期間	1年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

※①「短大給付奨学金」②「短大牧口奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

4	兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金	給付型・返還不要
申請	入学後、毎年4月初旬に開催する兄弟姉妹奨学金ガイダンスにて説明	
対象者	兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に在籍している新入生	
給付額	兄弟姉妹の同時在籍が2人目の場合、新入生に対し入学後「入学金半額（10万円）」を給付 兄弟姉妹の同時在籍が3人目以降の場合、新入生に対し入学後「入学金全額（20万円）」を給付	

※条件を満たす申請者は全員採用となります。

※兄弟姉妹が大学院または通信教育部に在学している場合、編入学、転入学、再入学した学生は申請の対象者から除きます。

成績優秀者を奨励するための奨学金

▼入学試験の成績優秀な合格者に対し授業料・教育充実費の半額分を給付する制度です。

5 特別奨学生制度		給付型・返還不要	
給付額	2年間の授業料・教育充実費の半額を給付		
入試	自己推薦入試	公募推薦入試	一般入試
採用人数	若干名	若干名	若干名
採用期間	2年間 ※学業成績による継続審査あり		
対象者	全受験生（手続きは不要・採用者には合格通知に記載）		

▼大学入学後の成績優秀者を奨励する奨学金です。

6 学業奨励賞		給付型・返還不要	
給付額	当該セメスターに8万円を支給		
採用人数	33名		
採用期間	当該セメスター		
採用方法	各学年でセメスターGPA上位者を採用		
対象者	全学生（手続きは不要・全学生の成績を審査し、採用者に通知）※1年次前期は除く		

その他の奨学金

▼SUA（アメリカ創価大学）短期留学プログラムに参加する学生を支援するための奨学金制度です。

7 短大白鳥会 SUA 短期留学サポート奨学金		給付型・返還不要	
対象者	SUA 短期留学プログラムに参加する学生		
給付額	年度によって異なる（15万円程度）		
採用人数	年度によって異なる		
申込方法	申請手続きは不要・採用者にはオリエンテーションにて通知		

高等教育の修学支援新制度

減免型・給付型・返還不要

支援内容	<p>○対象者には入学金及び授業料の減免と、生活費のための奨学金が給付（返還不要）</p> <p>私立短大生の減免額（年額）：入学金上限約 25 万円（本学の場合は 20 万円） 授業料上限約 62 万円</p> <p>私立短大生の給付額（月額）※：自宅生 38,300 円（年間約 46 万円） 自宅外生 75,800 円（年間約 91 万円）</p> <p>※生活保護世帯または児童養護施設出所者等で保護者等と同居する学生には月額 42,500 円（年間 51 万円）給付</p> <p>◎家計基準の区分に応じて、上記支援標準額の全額、3分の2、3分の1の支援が受けられます。</p>
対象者	<p>○機関要件を満たした大学等に在学する学生であること（2年生も含む）</p> <p>○家計基準、成績基準の両方を満たすこと</p>
家計基準	<p>○家計基準は住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯（3段階で支援）</p> <p>以下の算式により算出された額について、学生等及びその生計維持者の合計額が以下の基準額に該当すること</p> <p>【算式】市町村民税の所得割の課税標準額×6%－（調整控除の額＋税額調整額）※</p> <p>※政令指定都市に市民税を納税している場合は、（調整控除の額＋税額調整額）に3/4を乗じた額</p> <p>第Ⅰ区分（標準額の全額支援）：100円未満（市町村民税所得割額が非課税となる者を含む）</p> <p>第Ⅱ区分（標準額の2/3支援）：100円以上～25,600円未満</p> <p>第Ⅲ区分（標準額の1/3支援）：25,600円以上～51,300円未満</p> <p>◎日本学生支援機構のホームページでシミュレーションすることができます。</p> <p>日本学生支援機構 進学資金シミュレーター：https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/</p> <p>※保有する現金等の資産（預貯金・有価証券等）が2,000万円（父子母子家庭は1,250万円）以上の場合、対象外となります。</p> <p>※年度途中の家計急変で基準を満たす場合も対象となります。</p>
成績基準	<p>○成績基準は高校時の成績だけでなく、学習意欲を確認</p> <p>高校2年次（申込時）までの評定平均値が3.5以上</p> <p>評定平均値が3.5に満たない場合、レポート等により学習意欲が確認できれば申し込み可能</p> <p>※高卒認定試験合格者は評定平均値を問わず、レポート等の提出も不要です。</p> <p>※高校卒業後2年以内の方、高卒認定試験合格後2年以内の方も申し込み可能です。</p> <p>※大学2年次の学生はGPAが上位2分の1以上または標準以上の単位数を修得しており、学習意欲が認められること。</p>
採用期間	<p>採用年度から2年生まで</p> <p>※入学後の成績および家計状況について継続審査があります。</p> <p>※毎年夏に実施される家計状況の審査結果に応じて区分が変更されることがあります。</p>
出願期間	<p>予約採用 ⇒ 高校3年時7月頃（在学高校の奨学金担当者に申し出てください）</p> <p>在学採用 ⇒ 大学入学後、4月初旬開催予定の奨学金説明会に出席</p>
注意事項	<p>第Ⅰ区分、第Ⅱ区分の支援対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与不可</p> <p>第Ⅲ区分の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）の貸与月額が2万円程度に制限</p> <p>※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。</p> <p>※創価女子短期大学独自の給付奨学金制度および地方公共団体、民間団体の奨学金制度についても、各制度によって併給の可否が異なりますので、各制度の詳細をよくご確認ください。</p>

※制度の内容は、2019年5月10日に成立した「大学等における修学の支援に関する法律」および6月末制定の政令、省令等の情報です。

制度は政府等の方針によって変更される場合があります。

※その他、制度の詳細は以下のホームページをご確認ください。

文部科学省 ホームページ：<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

日本学生支援機構 ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

○創価女子短期大学に入学した場合の入学金・学生会費を含む1年次の減免額と納付額

	第Ⅰ区分(全額減免)	第Ⅱ区分(2/3減免)	第Ⅲ区分(1/3減免)
入学金減免額	200,000円	133,400円	66,700円
授業料減免額(年間)	620,000円	413,400円	206,700円
納付額(年間)	395,000円	668,200円	941,600円

※上記金額は創価女子短期大学が対象校になった場合、各支援区分に応じて対象者に支援される金額です（100円未満切り上げ）。

現在、創価女子短期大学も機関要件確認申請中であり、対象校は2019年9月下旬に公表される予定です。

※入学手続き時の納付額は、合格通知発送時に送付する入学手続要項をご確認ください。

日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金 ※予約制度あり

	第一種奨学金 貸与型・無利子	第二種奨学金 貸与型・有利子
貸与月額	自宅生：2万円、3万円、4万円、5万3千円（最高月額） 自宅外生：2万円、3万円、4万円、5万円、6万円（最高月額） ※最高月額は機構の定める基準を満たした場合のみ選択可能	2万円から12万円のうち1万円単位で選択
利子	なし	年利0.14%（2019年3月現在・利率固定方式） ※利率は上限年利3%
出願条件	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（高校での評定平均値3.5以上）と「家計に関する基準」の両方を満たしていること ※低所得世帯は基準なし	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（標準的な成績であること）と「家計に関する基準」（第一種より緩やかな基準）の両方を満たしていること
貸与期間	採用年度から2年生まで（継続審査あり） 貸与開始月は4月	
出願時期	①予約採用 ⇒ 高校3年時4月～7月（在学高校の奨学金担当者に申し出てください） ※予約採用者は期日までに手続きをすることによって、大学入学後4月から入金開始 ②在学採用 ⇒ 大学入学後、4月初旬開催の奨学金説明会に出席 ※在学採用者は採用後、6月に初回入金（4月～6月分がまとめて入金）	

機構ホームページ：<http://www.jasso.go.jp>

※出願し採用になれば一種と二種の併用貸与も可能です。

※家計が急変した場合、1年以内に申し出ることにより、第一種奨学金と第二種奨学金の内、その時点で貸与を受けていない方の奨学金を事由発生年月まで遡って貸与を受けることのできる「緊急・応急採用」制度があります。

日本学生支援機構 入学時特別増額貸与奨学金 ※予約制度あり

貸与型・有利子

▼入学後、初回入金時1回限り、増額して貸与を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は第二種奨学金と同様）
出願要件	利用する場合は、以下の①②のどちらかの条件を満たすこと ①奨学金申込時の家計状況が、機構の定める基準（認定所得金額0円以下）を満たす場合 ②日本政策金融公庫の実施する「国の教育ローン」に申し込み、公庫が定める要件を満たした上で、融資を断られた場合

全国労働金庫協会 入学時必要資金融資

貸与型・有利子

▼入学後に貸与する日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を担保にして入学前に「ろうきん」から融資を受ける制度です。

貸与額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は年利1.81%程度）
申請要件	日本学生支援機構奨学金の「入学時特別増額貸与奨学金」を、高校在学時に予約で申請した方

※予約採用後に発行される「日本学生支援機構奨学金 採用候補者決定通知」に『入学時特別増額貸与奨学金（有利子）（日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要）』と記載されている場合、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申請し、融資を断られたことを証明する書類が必要になります。

※融資を実際に申し込む際には、学生本人同伴のもと、本人確認書類や学費納付書などの提出が必要になります。

詳細はお近くの「ろうきん」にお問い合わせください。

日本政策金融公庫 国の教育ローン

貸与型・有利子

▼申込みは一年中いつでもできます。合格発表前でも申込みができますので志望校が決まった時に、早めにお申し込みください。合格発表前、進学を決めた時点で相談、申込をすることにより入学手続き時の入学金・授業料や留学、通学、下宿にかかる費用の支払いなど幅広く利用する事ができます。審査は最短5営業日、融資は最短2週間です。

対象者	大学などに入学・在学する方の保護者および親族で、世帯の年間収入が基準額を満たす方
融資額	学生1名につき350万円以内
返済額	15年以内
融資利率	年1.71%＜2019年5月現在＞ ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内の方は1.31%
その他	(財)教育資金融資保証基金の保証（保証料が発生）または連帯保証人（1名以上）が必要です。

☎テレホンサービス：ナビダイヤル 0570-008656 【詳細】<http://www.jfc.go.jp/>

●銀行・金融機関の教育ローン〈貸与型・有利子〉

銀行、金融機関によって、融資額、金利、収入基準額が異なります。詳細は直接銀行にお問い合わせください。

●楽天銀行教育ローン ●セディナ学費ローン（三井住友フィナンシャルグループ）

大学が提携している教育ローンです。インターネットなどからお申し込みください。

●自治体・公共団体および企業の実施する奨学金〈給付型・貸与型〉

各団体によって基準を設け募集を行っています。返還義務のない奨学金や無利子のものもあり、学生にとって利点が多くあります。

予約型の奨学金制度を設置している団体もありますので、詳細は各団体にお問い合わせください。



お問合せ先：創価女子短期大学 学生課奨学金係

TEL 042-691-2201 ▶平日 9:00～17:00 (土曜 9:00～12:00、日・祝日除く)

FAX 042-691-9301

〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

🌐 <https://www.soka.ac.jp/swc/>



本学奨学金ホームページ

※奨学金の情報は本学ホームページにて詳細を公開しています。今後更新される場合がありますので必ずご確認ください。

